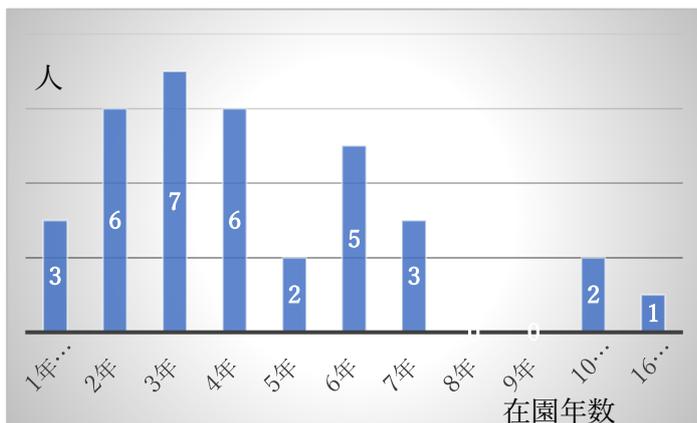


3 青谷こども学園入所児童の現状

児童の入所年数



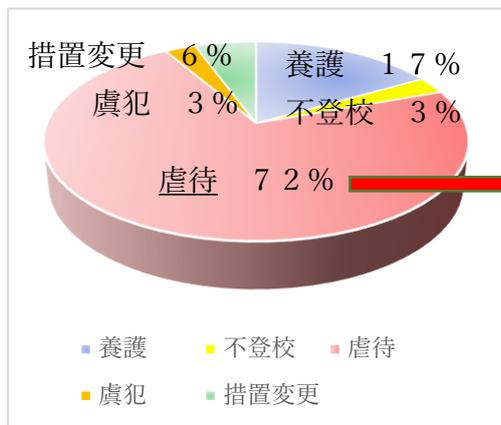
児童の通学・通園先

青谷小学校・青谷中学校・青谷高校
倉吉農業高校・緑風高校・湖陵高校
米子高等専門学校・白兔養護学校
こじか幼稚園

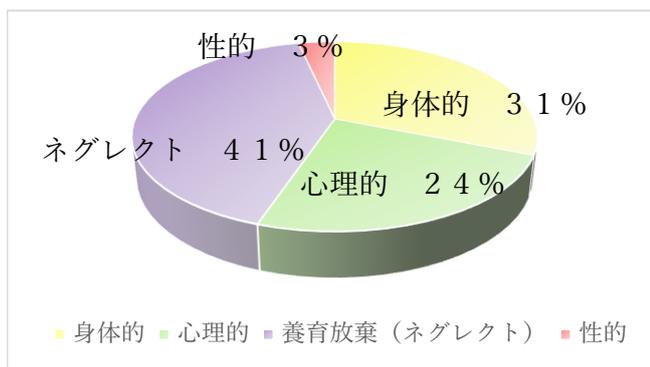
里親利用児童

生活体験事業利用
3名（うち里親委託へ移行を考えている児童1名）

入所理由



虐待の内訳



年度末の退所児童状況 計6名

高校3年生 4名（就職4名→家庭復帰2名、自立1名、障がい者グループホーム1名）
小学生 2名（親子再統合2名）

4 職員配置

正職：29名（うち育児休暇中2名） 臨職：1名 パート・嘱託等 8名
職種：施設長・副施設長・事務員・包括長・基幹の職員・心理療法担当職員・個別対応職員
家庭支援専門相談員・里親支援専門相談員・栄養士・保育士・児童指導員・管理宿直等職員

5 ボランティア交流事業

- <団体>
 - ・やまびこくらぶ（田植え・収穫祭）・鳥取中央ライオンズクラブ（地引網&バーベキュー）
 - ・鳥取県里親会東部部会（B級グルメ屋台）・鳥取県里親会中部部会（土に親しむ会2回）
 - ・民生児童委員（そうめん流し）・ガイナレ鳥取（遊び交流）・BBS（ガイナレ観戦）
 - ・学習ボランティア（週1回 鳥取大学地域教育学部生 総勢10名が交代）
 - ・オレンジボランティア（遊び）（月1回 鳥取短期大学生及び鳥取看護大学生 2名）
- <個人>
 - ・華道教室（吉田幸枝氏）・金融教育（村田弘子氏）・読み聞かせ（池本紀子氏）
 - ・学習ボランティア（鳥取大学生1名）
- <招待>
 - ・海上自衛隊舞鶴音楽隊コンサート（自衛隊鳥取案内所）・BBS（ガイナレ鳥取観戦）
 - ・なりすな・ほのぼの納涼祭



6 実習生受け入れ先

- ・鳥取短期大学幼児教育学科 13名
- ・鳥取大学地域教育学科 3名
- ・大阪健康福祉短期大学保育・幼児学科 2名
- ・岡山短期大学幼児教育学科 1名

姫路旅行

7 児童の主な園内行事・地域参画行事・施設関係行事

月	内 容
4	青谷春祭り西町子ども会神輿 ガイナーレ選手との交流会 ガイナーレ鳥取観戦
5	農業体験(やまびこクラブ田植え) 鯉のぼり
6	ライオンズクラブさんとの交流会(岩美・地引網) 児童球技大会練習開始 日置谷自転車教室 西町子ども会 菖蒲綱引き なりすなまつり
7	施設合同キャンプ ひだまり自立研修 青谷夏祭り ほのぼの納涼祭り 代表者会 七夕 子ども会おでかけ
8	自衛隊による防災研修 露谷夏祭り 興宗寺秋葉祭 児童福祉展 出展 チューリップキッズ 夏休み長期帰省 自然体験事業(船上山) やまびこくらぶ 帰省不可能児外出 中国地区児童球技大会(岡山) 里親会東部部会とのふれあい事業(大阪) 松江乳児院夏祭り 民生委員さんとの交流会(そうめん流し)
9	地区運動会
10	里親会東部部会との交流会 ひだまり自立研修 代表者会 里親会中部部会との交流会 避難訓練(消防署指導)
11	日置谷地区文化祭 ひだまり卒業記念品政策 ガイナーレ観戦
12	年末年始長期帰省 餅つき 大掃除 国際シンポジウム 子ども会クリスマス会・退団式 研修旅行(姫路方面) ガイナーレ選手との交流会 園内クリスマス会 代表者会
1	とんど火まつり 海上自衛隊ふれあいコンサート ひだまり自立研修 帰省不可能児外出
2	節分
3	祝賀会 代表者会 退所セレモニー ひな祭り ※新型コロナウイルス感染非常事態により中止になった行事:善田橋記念イベント・子ども会入団式・帰省



金融教育

毎月実施: 避難訓練・金融教育・華道

8 職員研修の実際

管理的職員 組織管理運営 指導的職員 組織運営に参画 勤務年数7年以上	専門的研修・ルーティンワークと組織運営に関する評価と改善。 ケースのアセスメントとカンファレンス・スーパーバイズの進め方 職員のメンタルヘルスケア等・職員が働きやすい環境の整備。 児童・保護者へのサービスの展開を描き問題点を発見。
中堅的職員 運営管理の理解促進と参画 勤務年数4～6年	各専門職としての職務内容の徹底と連携強化 CSP・とり子育て・セカンドステップトレーナーの養成 障害の特性理解と養育支援、チームアプローチの有効性と重要性 日常的観察のポイント・OFF-JTの奨励(施設間交換研修) 人事・労務管理の基本の理解・制度や意識の理解 適切な予算管理での事業の遂行・キャリアアップ研修
新任職員 組織運営管理の基礎の習得 勤務年数1～3年	基本理念、就業規則の理解、組織の一員としての在り方、権利擁護と人権侵害防止、OJT・OFF-JT、ルーティンワークのスキル継承・伝達、CSP・DKTの習得。セカンドステップの理解、新入所児童のアセスメントの理解・養育支援のシミュレーション化。園内ケース会参加。県養各調査研究部会所属。



ガイナレ北野氏と会食

主な外部研修

鳥取県児童養護施設協議会関係(生活支援部会・乳幼児部会・保健衛生部会・会計事務部会・心理士部会・家庭支援部会・ITサポート部会・権利擁護チーム 各研修会及び研究会)

鳥取県児童福祉入所施設協議会関係(施設間訪問研修・新規採用職員研修・給食関係職員研修 基幹的職員研修・福祉職員キャリアパス対応障害研修・ペアレントサポートプログラム・災害に備えるワークショップ・特定給食施設等栄養管理実習者研修・里親スキルアップ研修・苦情受付担当者研修・障害者支援者研修・対人援助研修・メンタルヘルス研修・全社協FSW研修・要対協担当者研修)

9 施設環境の整備等

- 本園改築案を含めた今後の児童養護施設の在り方検討 →現在の敷地で運営継続の方向へ
- 福祉ゾーン「大規模自然災害へ」に関する合同研修会の実施→継続する協力体制を確認
- 本園分園 屋外防犯カメラ設置 ○本園非常自動通報装置設置 ○分園スプリンクラー設置
- 本園誘導灯取り換え（9台） ○第三者評価受審（4回目）
- 分園砂場設置（寄付によるもの）

10 苦情に関する状況（別紙記載）

11 寄附・寄贈者（別紙記載）



分園 光琳グループ様からの寄附・寄贈



芳尾前施設長を交えてのクリスマス会



自衛隊によるロープワーク

平成 28 年度に定員をあげてから念願の 35 名を満たした一年、活気あるものであった。骨折で入院した児童がいたものの、全児童が概ね元気で過ごせ、年度末には 6 名の退所児童を送り出せたことは何よりであった。その反面、新任職員が数カ月で退職していき、その後の人員補充に苦慮し、児童と寝食共にしている職員には大変な苦勞をかけた。働き甲斐のある施設（法人）になる為に、どうあるべきか考え方の改革をしていかなければならないと痛感した。昨年度の児童にとっての大きな事業は、宿泊を伴う研修旅行（姫路方面）であった。大型台風接近に伴い、日程を冬に変更して実施したが、日本初の世界文化遺産を目の当たりして学習したことは児童にとって大きな財産になった。また運営面では、第三者評価を受審し、よりよい支援に繋がるための手立てについて具体的な取り組みへのヒントをもらえ、新たなビジョンへの取り組みマニュアルの再編成に取り掛からなければならない。